



くねっぷ  
HOKKAIDO KUNNEPPU TOWN

# 会 だより 議

174号

町道の今後の整備  
計画と取り組みは

一般質問

4

ページ

6月定例会で審議した議案……………2  
ページ

第2回臨時会で審議した議案……………2  
ページ

議員研修会・道内視察報告……………11  
ページ

議会の主なうごき／あとかぎ……………12  
ページ

発行 北海道訓子府町議会  
編集 訓子府町議会広報特別委員会

二〇二二年（平成三四年）八月一日発行



ふれあい昼食会でのひととき

平成24年 6月 定例会 6月19日～6月20日まで

# 一般会計 1億3,537万円を補正

平成24年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

## 一般会計(第2号)

歳入歳出予算から1億3,537万6千円を追加し、総額を38億2,931万4千円としました。

### ■主な歳出内容

- 造林業務(町有林)979万6千円を減額
- コミュニティ助成事業補助金  
250万円を追加
- 乳幼児等医療費助成事業  
250万1千円を減額
- 児童センター建設事業  
1億2,786万3千円を追加
- 経営体育成支援事業補助金  
348万6千円を追加
- 住環境リフォーム促進事業補助金  
600万円を追加

## 介護保険会計(第1号)

歳入歳出予算に407万8千円を追加し、総額を4億9,067万8千円としました。

### ■歳出内容

- 介護給付費準備基金積立金  
220万7千円を追加
- 国庫支出金等返還金  
187万1千円を追加

## 後期高齢者医療会計(第1号)

歳入歳出予算に14万2千円を追加し、総額を7,194万2千円としました。

### ■歳出内容

- 保険料等納付金(後期高齢者医療広域連合納付金) 9万5千円を追加
- 一般会計繰出金  
4万7千円を追加

## 平成24年第2回臨時会(7月17日)

### 【議案】

◆訓子府町児童センター建設工事請負契約の締結について

#### 【原案可決】

児童センター建設工事を北成建設(株)訓子府支店と請負契約を締結することに同意しました。

- ・契約金額  
1億2,516万円
- ・概要  
木造平屋  
床面積498.53㎡

### 【報告】

◆専決処分の報告について

#### 【報告了承】

公用車の交通事故に伴い、相手方に対する損害賠償額の決定と和解について、報告がありました。

- ・損害賠償額 33万3千円
- ・事故の概要

平成24年5月31日(木)午後1時頃、穂波110番地先において取付道路から出る際に、町道を走行する相手車両と接触し、破損させる損害を与えた。

## 予算関連質疑応答

**Q** 児童センターって  
どんなところ。

**A** 今まで活動していた児童生活館（留守家庭児童対策）と竹の子クラブ（放課後児童対策）の機能を合わせた施設です。さらに両方に入ってなくても、町内の子供達が自由に遊びに利用する事ができます。

**Q** どこに、どれくらいの大きさなの。

**A** 現在の児童生活館の南側に建設されます。  
大きさは建物全体で約500㎡で、中には215㎡の遊戯室を設けます。これはスポーツセンターの小体育館よりひとまわり大きい広さになり、雨の日でもたくさんの子供達が元気に遊ぶ事ができます。

**Q** オープンはいつ。

**A** 平成25年の4月から開設の予定ですが、3年生までの子供が対象でしたが、6年生までの児童が通うことができます。

**Q** お金はいくらぐらいかかりますか。

**A** 今、決まっているのは建物の設計費が639万円・建物の建築費が1億2,700万円。

今後、備品代・現在の建物の解体料・駐車場の設備代・道路整備などの費用がかかります。これらは建物ができてからの工事となります。来年度の予算なのでまだ決まっています。

**Q** 何か建物に特徴はありますか。

**A** 設備や広さは次代を見越したもので、すし、特徴としては訓

子府のカラ松を原料とした木材と姉妹町津野町の檜（ヒノキ）を取りよせて柱・床・壁などに使うところが注目です。子供達にとって有意義な施設になる事を願っています。

## 条例の制定等

◆乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正

原案可決  
入院及び指定訪問看護のみであった小学生の助成要件を通院まで拡大するため、条例を改正しました。

## 報告

□繰越明許費繰越計算書（平成23年度一般会計予算）の報告

報告了承  
道営訓子府南部地区  
畑総事業140万円、

農業用施設災害復旧事業2,303万円の事業費計2,443万4千円を平成24年度に繰越した旨の報告がありました。

□ふるさとおもいやり寄付金等の運用状況報告

報告了承  
平成23年度のふるさとおもいやり寄付金等の運用状況報告がありました。

□教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告

報告了承  
教育委員会から平成23年度の活動状況に関して、点検・評価した旨の報告がありました。

□出納検査結果報告

報告了承  
監査委員から4月から6月までの一般会計、特別会計及び水道事業

## 追加議案

◆議員の派遣

決定

会計について例月出納検査を実施した結果、出納事務は適法に行われ、異状ない旨の報告がありました。

議員の派遣を決定しました。  
○北海道町村議会広報研修会（8月22日・23日札幌市 議会広報委員2名）

## 安藤義昭議員 自治功労者表彰受賞



町議会議員として、25年以上在職し、地方自治振興に寄与された功績に対して、北海道町村議会会長から、表彰された。もので、6月19日第2回定例会において、橋本議長より表彰状が伝達されました。

# 一般質問

7名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

## 町道の今後の整備計画と取り組みは

町長 老朽化が著しい町道は実施計画に

**小林** 町道も舗装がされてから、かなりの年数が経過し、舗装面も補修などで段差ができ、車が通過する度に音と振動が発生して

るところもあります。今後の整備計画と取り組みについて伺いたい。

**町長** 本町の町道整備特に舗装整備については、昭和45年からの40数年間で飛躍的に整備が進捗しています。一方では、昭和50年代に舗装された路線については既に30年が経

過し、車が通過する度に音と振動の発生、舗装クラックや平坦性が低下している路線もあります。

私のマニフェストで「環境にやさしい住みよい町づくり」のなかで老朽化が著しい町道

南12線、町道西17号線、町道西33号線などの再改修を掲げ、実施計画に掲載しているところですが、長大路線であることから事業費が大きく、道路補修や二次改修に対する既存



老朽化が著しい町道西17号線



小林 議員

の補助金、交付金が適用されないことや農林水産省関係の事業では農道の事業仕分け、土地改良事業予算の大幅な削減によつて事業要望も難しい状況にあります。

一括交付金についても都道府県、政令指定

## 水源地不使用施設の今後の考え方は

町長 閉鎖を視野に入れた検討をしていく

**小林** 水道事業については「訓子府町水道ビジョン」策定の中で今

後の取り組み・対応が示されると思いますが、現在使われていない施設（水源地）の今後の考え方について、水質の検査を実施しているのかも合わせて伺いた

都市への交付にとどまり、市町村へは未だ制度化されていないような状況であります。

こうしたなか、舗装修繕が必要な路線については、一時的なパッチング補修を継続し、交通安全確保に努めるとともに制度改革の情報収集並びに町村会など連携し制度要請を行っていくところであります。

水源である開盛水源地から送水を受けることに変更したものです。現在は施設を休止扱いとし、建物は資材などを備蓄する倉庫として利用していることもあり、この施設の水質検査は現在行っていない。

西富水源地は、国の水質基準を上回る硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が検出されたこともあり、西富水源地からの送水は中止している状況です。

現在この施設についても飲料用として利用していないことから水質検査は行っていません。

今後においては、西富水源地の取扱いについて閉鎖を視野に入れた検討をしていきたいと考えています。

**町長** 現在休止中の水源地は清住水源地と西富水源地の2カ所であり、清住水源地は平成16年に指標菌の一種である大腸菌が検出され、その対策として平成22年に豊坂地区と清住地区については、別

## 町民のための住み良い公住等整備計画は

### 町長

#### 高齢者世帯の増加に配慮した計画

**西山** 昭和26年に「公営住宅法」が、国民生活の安定と社会福祉の増進を目的として制定されました。

現在は福祉施策との連携も重要視されていますが、町民のための住宅計画について町長の考えを伺います。

本町の町営住宅の現状と課題は。

**町長** 本町の町営住宅は昭和30年に幸栄団地10戸を始まりとし、穂波、末広、日出と年次的に建設、建替えしてきました。

現在では町営住宅で62棟245戸、特定公共賃貸住宅で5棟44戸、定住促進住宅で4棟8戸を管理しています。

6月現在の空き状況

は幸栄が3戸、日出が2戸で入居率97・8%と高いです。

課題は、建設年度の古い建物が多く平成23年度で耐用年数が過ぎていくのが56戸で、10年後には134戸と予想され、修繕や改築が追いつきません。

また、ユニットバス、給湯、暖房設備などの住宅設備格差が課題となっています。

**西山** 建替計画における福祉的役割は。

**町長** 本町の公営住宅等長寿命化計画においての末広団地建替えは断熱、機密性能、できるだけ多くの人が利用しやすいユニバーサルデザインに留意した高齢者対応住宅として計画し、平成29年度以降



西山 議員

の幸栄団地建替えは、シルバーハウジングなどの高齢者世帯向け住宅や、地域のコミュニケーションの場づくりなど、高齢者世帯の増加に配慮した建替計画を検討していきます。

**西山** 建替えによる住宅使用料への影響と対応策は何ですか。

**町長** 本年度着手する末広団地については、所得階層1の人で2万2千円から2万7千円

の家賃となる想定です。5月下旬に全体の説明会を開催し、住替え予定入居者への個別調査や個別相談を行い激変や緩和や低料金住宅のあつせんなど対応策を検討しています。

**西山** 計画は綿密に立てられていますか、入居者にとって家賃が上がる大きな問題だと思いませんか。

その相談体制として住まいの相談が必要では。

**町長** 本町は民間借家が少ないので最初の住宅相談は建設課管理係を通して対応しています。

## 町民の平穏な暮らしを守る施策について

### 町長

#### すぐに相談しやすい環境整え継続

**西山** 町長が目指す「人にやさしい町くんねつぶ」において、暴力や虐待の実態把握はされていますか。

**町長** 本来あつてはならない暴力や虐待は、児童虐待、高齢者虐待夫婦間のDV、家庭内暴力などがあります。

これらは家族内のことが多いので実態把握が非常に難しいです。

本町での高齢者虐待相談は地域包括支援センターに過去3件ありました。

DVについては過去数年相談に関わったケースはありません。

児童虐待に対しては平成22年度、全国5万5,152件、北海道1,593件、北見児童相談所89件の報告が

ありました。

本町は平成20年度から23年度までに4件、1世帯です。

**西山** 町民を守る対応策は。

**町長** 把握は難しいが関係機関がそれぞれの立場で異変をキャッチできるようにアンテナを張り、ささいなことでもすぐに相談しやすい環境を整え継続していくことが、町民の平穏な暮らしを守ることに繋がると考えています。



S54~62年に建設された幸栄団地



## 交通安全と事故防止対策について

### 町長 危険箇所修繕は管理者の最優先事項

**上原** 交通弱者への配慮をし、通行に安全な

道路整備は自治体の使命です。町内道路の維持管理の現状と課題は、

**町長** 町道の維持管理は、係長1名・土木技師5名で河川やその他の施設等含め行う。経年劣化した路線の

トラフ排水路破損の再整備要請が多く、平成22年度から計画的に進め、また劣化舗装についても修繕に努める。トラフ側溝再改修整備・老朽化舗装の平坦性確保の大規模舗装修繕整備・橋梁の計画的修繕などが課題である。

**上原** 危険箇所の把握と対策について。

**町長** 道路パトロール地域などの情報により危険箇所を特定し、現地確認の上緊急度の判断をしている。

通行量の多い幹線道路を優先に応急措置を実施している。大規模修繕については、路線整備や補助金・交付金など財源対策も見極め計画する。

豪雨による砂利道路盤流出防止策として、粘土を混ぜる対策も行っている。近年人身事故件数は減っている現状です。

**上原** バス停留所の安全確保と維持管理は、**町長** 町内の路線バス停留所は37カ所あり、ほとんどが道々沿に設置され、北海道と町が



上原 議員

連携し安全対策を講じている。路肩乗降でスペース確保していないのは4カ所あり、未整備箇所の早期整備を要請している。

地域の善意を大切に、バス会社も含め連携し維持管理・安全対策に努める。

**上原** 冬期間の排雪による安全対策について

**町長** 市街地域は、降雪状況で排雪し北見置戸線と町道の交差点は、視界確保の排雪を実施。一次除雪に支障のない排雪をして安全な走行を確保し、降雪予想に基づいた排雪を行う。

市街地の民有地への堆雪は32カ所で地権者の了解は得ている。今後更に地権者との打ち合わせを行う。

## 児童センター運営の考え方

### 町長 安心して集い遊べる場所に

**上原** これから協議検討される児童センター運営の基本的な考えについて伺います。

**町長** 現在は一カ月6、30円で5段階の減免規定がある。

**上原** アンケートによる引き下げ要請もあり、児童センターの留守家庭児童保育料は、現行の半額程度が妥当と考える。自由来館児童は無料としたい。

**上原** 指導体制含めた

職員配置の考え方。

**町長** 日常的には3名体制とし、利用の多い時間帯や障がい児などの受入れに当たっては、指導員の増員配置を考える。

月1〜2回体験活動事業を取り入れたい。

**上原** 児童の区分けと責任の持ち方。

**町長** 自由来館児童は午後4時30分まで、登録した放課後児童クラブ児童は、午後6時までとし区分けするが、責任の持ち方に区分けはない。

**上原** 運営の基本目標の掲げ方について。

**町長** 児童生活館の役割や雰囲気を守りつつ、子どもたちが安心して集い遊べる場所にした

い。  
異年齢集団の生活で豊かな人間性や社会性、自主性・協調性が育つよう支援できればと思う。



児童生活館で元気に遊ぶ子ども達

## レク公園芝桜の管理と今後の対応は

町長 一定の方向を見極める必要性がある

**河端** 芝桜まつりが行

われ町内外から多くの人が参加されましたが肝心の芝桜は、スギナなどの雑草が繁茂しており、あまりにも無様な様子に驚きました。

参加者からも落胆の声があがっていました。

昨年12月定例会でも芝桜の今後の考えを問いましたが、その後

の経過とこれからの考えを伺います。

**町長** 芝桜の丘は、火山系の土質で降雨に弱く表層崩壊防止の目的もあり植えたが、古い茎や葉が弱り多くの雑草が繁茂しています。

今年、公園作業員を1名増員し4名体制とし、芝桜の開花前に草刈りを実施しました。



対策が急がれる芝桜の丘



河端 議員

先進地の滝上町を参考に、土壌分析を行いタンカルを入れるなどして措置する予定です。

**河端** 芝桜以上に雑草は強いので種を落とさないなど今早急にできる手立ては。

**町長** 一部分に除草剤を散布してみたが芝桜が枯れたので、当面は4名で草取りしながら土壌改良をしていく予定です。

**河端** 芝桜の管理については根本的な見直しの時期なのか、やめるかなるのか、やめるか、違う樹種を植えるか一定の方向を見極めなければならぬと考

えます。

**河端** レクリエーショ

ン公園全体をどのよう

に考えていますか。

**町長** 毎年3千人を超える人が来園されており、本町のシンボルテックな施設と認識されています。

今後芝桜の再生、枯れた木の植え替え、遊具の修繕やバッテリーカー更新なども検討し、町民憩いの場「ふるさと公園」としていきます。

**河端** 旧駅構内の砂利の山に雑草が茂って景観が悪く、種が飛ぶなど住民から苦情があるが町有地の環境整備をどのように考えていますか。

**町長** 砂利は線路下にあったもので、他の軟弱地盤などの置換に利用するため現場調整しています。

本年はたんぼぼが異常発生し、地域の方から種子が飛ぶとの苦情も寄せられているので

今後に向け、グレーダーで起こしたり除草剤散布などをして町有地の景観整備に努めます。

**河端** 町民憲章に「自然の恵みに感謝し、美しい町をつくります」とうたっているが、段々その精神が薄れてきているようです。

どのように進めていきますか。

**町長** 5項目にわたる町民憲章の中でも特に大切な理念です。

過去には全町民による一斉清掃なども行ってきましたが、時代に合わなくなってきたこともあり改めて検証が必要と考えています。

町内会ごとに実施している清掃活動や、実践会による草刈、空き缶拾いなど自主的な美化運動など、今後も町民の力を借りて、美しいまちづくりに一層努力します。

## 一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき二問までを掲載し、内容を要約しています。

その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。

会議録は図書館に備えつけてあります。また、町ホームページにも掲載しております。

## 中体連の少数参加者の送迎対応は

### 教育長

役場の車で送るまでにはいたらない

**余湖** 中体連に参加している部活動として認められていない競技の種目・人数・外部コーチの数をお尋ねします。  
**教育長** 大会に登録している種目は「スキーが生徒2名・コーチ2名」「剣道が生徒2名・コーチ1名」「水泳が生徒2名・コーチ1名」となっています。

**余湖** 学校で部活として認められていない少数の種目の選手が、学校の代表として中体連の大会に出場できる事は、中学校と教育委員会の配慮の事と思いが、大変良い事だと思いますが、少人数のため会場までの送迎を父母にさせる事は事故などがあつた事を考えると非常



中体連の送迎をするスクールバス



余湖議員

にまずいと思うので役場などの車を出す事を考えるべきではないか。

**教育長** 少人数の競技種目への大会参加は中体連の配慮のもと例外として認めているのでそこには一線があるので役場の車での送迎にはいたらない。

## 居武士小学校生徒数増加への取り組みは

### 教育長

望んではいませんが現在の形での振興をする

**余湖** 居武士小学校の必要性をどのように考えているのか、また以前の議会答弁にあった生徒数20人を切った時点で今後について考えなければいけないとの回答がありました。具体的な対策は考えないのか。その事を含めて

学校の将来に対し住民の声を待つのではなく町として方向性を示す事が必要と考えますが。  
**教育長** 居武士小学校は本町開拓の地ということもあり、地域住民の皆さんの母校というだけではなく地域活動における心のよりどころ



居武士小学校の校舎

ろであります。

児童数20名を検討の目安にするとは学校の運営と児童教育の両面から一説には20名を唱える学説が一般論として示したものです。

日出・大谷地区の地域振興は総合的な観点で推進すべきもので、その結果人口が定着し児童数にもいい影響がでるものと思います。

学校のありようから地域を作るのは難しい。児童数増加には町と連携して一生懸命やっていきたい。

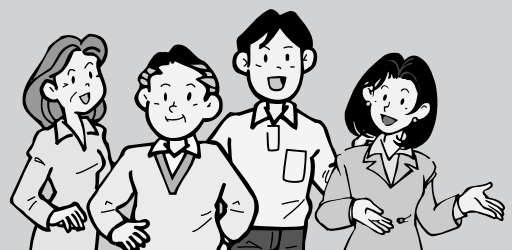
※余湖議員はこの他に幸町線への要望についての質問があつた。

第2回定例会は、5名の傍聴がありました。

## 議会を傍聴しましょう

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、テレビでも放映しています。

平成24年第3回定例会は9月中旬頃に開催する予定です。議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ





## リフォーム事業の次年度以降の実施は

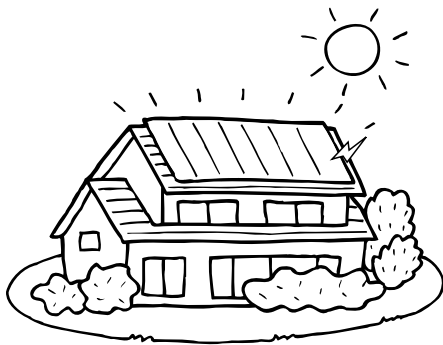
**町長** 本年度事業の推移を考慮し検討する

**工藤** 「住環境リフォ

ーム促進事業」は今年度の実施をもって当初計画を終えるが、この事業は依然続く景気低迷や公共事業縮減などで厳しい状況にある町民や商工業者の住環境向上や地域経済に一定寄与出来たのかと考えるが、平成23年度の活用実績と平成24年度の活用予測は。

**町長** 平成23年度実

績については、工事受注件数50件、受注額3,852万円。商品券などの発行含め約4,500万円の経済効果がありません。本年度の予測については、当初予算の補助金500万円は4月16日時点で超過見込みとなり、本議会に600万円の追加補正をし、1,100万円と見込み、これに対応する工



工藤 議員

事費は約8,250万円となり、補助金と合せ9,350万円の経済効果を生むことになります。

**工藤** 地域経済に与える効果をどう見ているか。

**町長** 極めて経済効果の高い事業と評価しているが、その効果は商工業のみならず地域経

**町長**

国庫負担の増額がなければ難しい

国保広域化で直面する問題は解決するか

**工藤** 「負担と給付の

関係の明確化」、「保険原理の徹底」を理念とした国保広域化の動きが一昨年の国保法改定以降強まっているが、まず本町の滞納状況と被保険者の所得階層割合は。

済や町の活性化にも寄与しているものと理解しています。

**工藤** 経済の地域内循環を進めるうえからも一定期間実施してほしいが、次年度以降の実施の考えは。

**町長** 本事業の有効性を認識するとともに、大幅に増加した本年度事業の推移を考慮しながら、次年度の対応を検討していきます。

ても100万円以下の世帯が431世帯と4割以上を占め、平成23年度では所得がないかあっても103万円以下の世帯は524世帯と全世帯1,068世帯の約半数を占めています。

**工藤** 現在進められている国保広域化で、国保が直面している問題（国保会計の赤字、保険税の値上げ、保険税滞納の増加という悪循環）は解決すると思われるか。

**町長** 今回の法改正は、国保の財政運営の都道府県単位化を目指していること認識しているが、増え続ける医療費に対して国庫負担の増額がなければ、直面している問題の解決は難しいと考えています。

**工藤** 今後、広域化の議論はどう進むのか。

**町長** 今後においては、財政基盤強化の検討と



町の国保窓口

税制抜本改革との議論の中で進んでいくと考えていますが、構造的な問題の解決に向け一層の国費投入など、国はどのようにに財政責任を果たしていくのか、その姿勢を正していかなければなりません。今後、国や道の動きを見ながら、北海道町村会などと連携を図って対応していきます。

## 末広団地東側道路の改良工事は

### 町長 整備計画に位置づける



安藤 議員

**安藤** この道路に面した住宅は、長年に渡って春になると道路の砂ぼこりなどに大変悩まされ、南風の吹く時などは、一日中窓も開けられない時もある。舗装改良工事の考えは。

**町長** 団地内道路は、整備必要な路線として今後の計画に位置づけ、整備が完了した北側の団地内をコの字状に緑丘線に接続し、本年度から着手した南側団地内はL字状に整備する2路線で計画する。

この2路線の内、北側区域の路線について、道路線形の詳細設計を実施する予定です。  
**安藤** 現在工事中の高規格道路から流れ落ちる水の団地内道路と小



整備予定の末広団地内道路

河川対策は。

**町長** 高規格道路のインター線をもって、河野の沢上流からケトナイ川に落とす計画で工事をし、9月に終わります。

原田の沢からの水も、近年増水していることから団地内道路についても、今後詳細に検討していきます。

## 道路補修についての考えは

### 町長 今後も点検・パトロールを強化

**安藤** 町道については、冬期間の凍結などによる路盤の破損やマンホールなどの凹凸などにより歩行者・中でも高齢者の人達には、大変危険と見られる所もあり、早いうちに点検し、補修しては。

**町長** 歩道部分の危険箇所の早期点検と補修の実施については83路線、33・4 kmを管理しています。

冬期間の凍上などによる破損やマンホールの段差など、危険箇所の点検・補修に苦慮しています。

少ない職員での点検では限界があり、地域の情報、協力により危険箇所を特定し、補修を行っています。

今後も点検・パト



段差のあるマンホール

※安藤議員はこの他に歩道の除排雪についての質問があった。

## 「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなどどんなことでも結構です。どうぞ議会事務局までご意見をお寄せください。

☎ 0157-47-2184へ FAX0157-47-2600へ



### 美深町視察(5月25日)

5月25日、全議員による総文、産建両常任委員会合同の所管事務調査で道北の美深町を訪れ、認定こども園幼児センター設立の経緯と運営状況について研修しました。

これは、本町においても平成25年度以降に予定している幼・保

の運営、また教諭・保育士の研修時間確保の困難や職員の連絡、連携を図ることに苦慮していること。所管省庁の違いによる事務の煩雑さなどの課題もあることなど説明があり、施設見学も含め本町にとっても学ぶべき点のある有意義な研修でした。

(工藤)



視察した認定こども園にて

### 東川町研修(5月26〜27日)

「全国小さくても輝く自治体フォーラムの会」は、合併を選択しない小さな自治体が参加して平成15年に長野県栄村で開催されて今回で17回目となり、初めて北海道(東川町)での開催でした。

遠くは沖繩をはじめ全国の町村から約400名の参加があり、本

町から、全議員、町長、職員7名が参加しました。

初めに「内から輝く自治体をつくる」と題して、資生堂名誉会長 福原義春氏の記念講演がありました。

福原氏は80歳を超えた今も現役で「日本の生活水準は上がったが質は下がっている」

「文化とはより良く生きようとする生き方で、文化力は地域の人間力」「小さい町だからこそ行政と町民が共通認識をもてる」など豊富な経験に基づいた示唆に富んだ講演でした。

その後5つの文科会に分かれて研修しました。

27日は全体シンポジウムがあり、最後に福島原発事故で計画的避難を強いられている福

(河端)

### 町村議会議員研修会(7月3日)

7月3日、全道町村議会議員研修会が札幌市で開催され、9名の議員が参加しました。

当日は、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦氏による「議会改革の展望と課題」と題して、分権社会における自治体のあり方、問われる新しい町村議

(安藤)

### 北広島市視察(7月4日)

全道町村議会議員研修会に合わせて、北広島市大曲にある「食と農のふれあいファームくくるの杜」を訪ねました。

敷地面積は、約17haもあり、オーブンから2年で、来場者数累計は、体験農場が16万5千人、調理加工体験施設が22万3千人。ほか、北海道の旬

(山本)

# 議会の主なうごき

## 5月

- 8日 開拓記念日のつどい(全議員)  
議会運営委員会  
第1回臨時会  
全員協議会
- 14日 産業観光振興協議会定期総会  
(正副議長・産建委員長)
- 18日 訓子府商工会第54回通常総会  
(議長・産建委員長)
- 22日 訓子府町社会福祉協議会第2回  
理事会及び第1回評議員会(議長)
- 23日 オホーツク町村議会議長会役員会・  
第12回定期総会(議長)  
北網ブロック町議会議長  
会議(北見市:議長)
- 25~27日 議員研修並びに常任委員会合同所  
管事務調査(美深町・東川町:全議員)
- 30日 産業建設常任委員会
- 31日 津野町交流事業推進協議会(議長)

## 6月

- 1日 総務文教常任委員会
- 2日 訓子府中学校運動会  
(正副議長・総文委員)
- 5日 北海道町村議会議長会第63回定  
期総会(札幌市:議長)
- 7日 議会運営委員会  
総務文教常任委員会

- 8日 産業建設常任委員会  
北海道横断自動車道北見地区早期  
建設促進期成会総会(北見市:議長)
- 9日 訓子府小学校運動会(正副議長・総文委員)
- 10日 居武士小学校運動会(正副議長・総文委員)
- 11日 美幌地方自衛隊協力会総会  
(美幌町:議長)
- 14日 老人クラブ連合会ゲートホール  
大会(議長)  
宵宮祭(議長)
- 15日 訓子府町農業担い手対策推進協  
議会総会(議長・産建委員長)  
祈年祭(議長)
- 16日 北見地区消防組合訓子府消防団  
消防演習(全議員)
- 19~20日 第2回定例会
- 20日 議会広報特別委員会
- 24日 幼稚園・保育園合同運動会  
(正副議長・総文委員)
- 25日 第62回社会を明るくする運動訓  
子府町地区推進委員会  
(議長・総文委員長)
- 28日 議会広報特別委員会
- 29日 オホーツク圏活性化期成会農林水産  
専門委員会(網走市:議長)

## 7月

- 1日 北見分会連合消防演習  
(北見市:議長・消防組合議員)

- 3日 北海道町村議会議員研修会  
(札幌市:全議員)
- 4日 視察研修(北広島市:全議員)
- 8日 第33回くねっぶふるさとまつり(議長)  
暴力追放啓発活動(議長)  
社会を明るくする運動啓発活動(議長)
- 11日 総務文教常任委員会
- 13日 産業建設常任委員会
- 14日 陸上自衛隊美幌駐屯地創立60+1  
周年記念行事(美幌町:議長)
- 15日 戦没者追悼式(全議員)
- 17日 議会運営委員会  
第2回臨時会  
全員協議会  
議会広報特別委員会
- 18日 北見地区市町議会正副議長会議(正副議長)
- 19日 老人クラブ連合会パークゴルフ大会(議長)  
議会広報特別委員会
- 20日 夏の交通安全運動街頭啓発(全議員)
- 23日 議会広報特別委員会
- 23~26日 オホーツク圏活性化期成会夏季要望  
北海道横断自動車道北見地区早  
期建設促進期成会中央要望  
(札幌市・東京都:議長)
- 28日 札幌くねっぶ会総会  
(札幌市:議長・総文委員長)
- 30日 訓子府高等学校教育振興会議  
(議長・総文委員長)

# 委員会等の活動

## 総務文教常任委員会

- 6月1日(金)  
○ 平成23年度所管  
事務調査の調査項目  
について協議した。
- 6月7日(木)  
○ 第2回定例会にお  
ける議案の審査を行  
った。
- 7月11日(水)  
○ 所管事務調査につ  
いての資料調査項目  
の説明を受けた。

## 議会運営委員会

- 5月8日(火)  
○ 第1回臨時会の運  
営方法について協議  
を行った。
- 6月7日(木)  
○ 第2回定例会の運  
営方法について協議  
を行った。

## 議会広報特別委員会

- 6月20日(水)  
○ 「議会だより」第  
173号の問題提起  
次号の掲載予定記事  
の確認を行った。
- 6月28日(木)  
○ 第2回定例会での  
一般質問の原稿等を  
確認した。

## 産業建設常任委員会

- 5月30日(水)  
○ 平成23年度所管  
事務調査の調査項目  
について協議した。
- 6月8日(金)  
○ 第2回定例会にお  
ける議案の審査を行  
った。
- 7月13日(金)  
○ 所管事務調査につ  
いての資料調査項目  
の説明を受けた。

- 「議会だより」第  
174号の確認作業  
を行った。

## あとがき

6月2日の訓子府中  
学校から始まり、訓子  
府小学校、居武士小学  
校そして6月24日の幼  
稚園・保育園合同運動  
会と、6月は各学校や  
園にとっても大きな行  
事となる運動会シーズ  
ン真っ盛り。

今年もそれぞれの運  
動会を観覧させて頂き  
各種競技や運営に一生  
懸命取り組む子どもた  
ちを応援しながら、こ  
の子たちがいるからこ  
その町の未来もある  
んだと改めて考えさせ  
られました。同時に、  
今を生きる子どもたち  
一人ひとりが尊重され、  
誰もがキラキラ輝いて  
成長することは大切に  
す。

そのための行政や議会  
でありたいと思います。

議会広報特別委員会  
副委員長 工藤 弘善

## 議会広報委員会

委員長 河端 芳恵